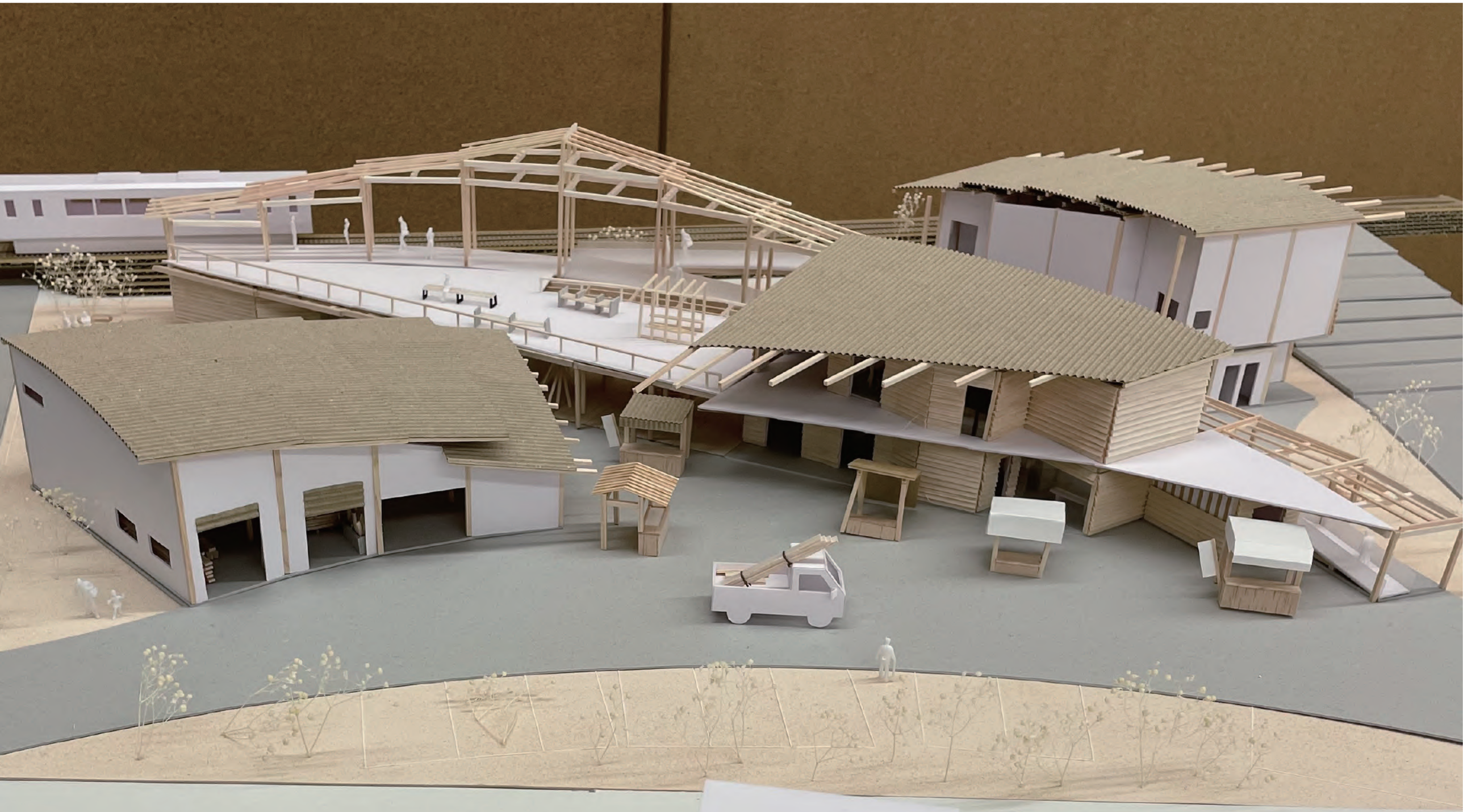
天竜の木とまちの共存

浜松市天竜区は約 9 割が森林であり、木材における国産材の利用率の低さや林業従事者の高齢化など林業衰退の危機に直面している。そこで、 地域住民と観光客をターゲットに天竜杉の価値の認識・発信・利用促進（林業復興）とまちの魅力の発信と活性化（経済の潤い）を計画する。

かつて林業が盛んであったこの天竜地域で、 木材の価値を認識してもらうことで地域住民は天竜地域に誇りを持ち、 子どもたちや観光客には木材産地で木材を体感することで記憶に残り、 木材を通して愛されるまちを目指す。



静岡理工科大学　理工学部建築学科　1815031　鈴木結梨